

電子カルテ等システム操作画面確認用シナリオ

以下のシナリオに沿ってシステム操作を行った場合の、画面の表示イメージやメニュー選択方法、必要な操作や画面遷移の所要時間などが具体的に伝わるよう提案すること。

なお、操作画面確認の提案方法については、プレゼンテーションの場でデモ機を持参する、または事前に用意した動画を再生するなど、選定委員が実際の使用感を把握できる方法に努めること。

【操作に関する共通事項】

- ・ **来院から診療、院内処方、会計までの一連の流れに沿って説明すること。ただし、説明内容が重複する部分については、シナリオ④以降は省略しても可とする。**
- ・ 主に初診の患者、または数か月～数年ぶりに来院する患者をメイン層として想定する。
- ・ 来院患者が提示したマイナ保険証、または紙の資格確認証等をもとに、保険情報を確認する。
- ・ 問診票は既存の様式（紙）を記入し、内容をシステムへ入力することを想定する。ただし、問診票のデジタル化について提案する場合は、使用するデバイスや入力の流れも合わせて説明すること。
- ・ 医師または補助スタッフ等が、患者の体温、脈拍、SpO2（酸素飽和度）などのバイタルサインや病名をカルテに入力する際には、最低限の手数での操作を行う。
- ・ 休日診療所独自の項目として、医師は診察後、患者の緊急性を「H・L」（High・Low）に振り分け、カルテ上で統一的に入力する。入力したデータの抽出可能性についても説明すること。

シナリオ① 吸入処置

患者：1歳半男児 喘息発作で来院

マイナ保険証を提示

ベネトリン 0.5ml、生理食塩水 10ml を吸入し症状改善した

<処方> ・アスベリン 0.3
 ムコダイン 0.6 分3 3 × (一)
 ・ホクナリンテープ 10.5g 1枚 1 × (一)
 ・デカドロンエリキシル 6ml 3 × (一)

以上

シナリオ② 迅速抗原検査（コロナ・インフル）

患者：5歳女児 高熱で来院

マイナ保険証なし、資格確認証を持参

インフルエンザ・コロナ迅速検査にてインフルエンザ A 型陽性

<処方> ・タミフル 2.0 2 × (5)
 ・アンヒバ坐剤 200g 1個 × (三)

以上

シナリオ③ 他院への紹介
患者：10歳男児 熱性けいれんで救急搬送にて来院 保険証等を持参せず 処置 ダイアアップ坐剤 10g 挿肛するもけいれんおさまらず 東広島医療センターへ紹介入院となる (紹介状を作成)
以上

以下のシナリオは、主にカルテ入力部分の操作を中心に説明すること。

シナリオ④ 血液検査
患者：80歳男性 採血し、WBC（白血球）およびCRPの院内迅速検査を行う。 ※院内の自動血球計数器 CRP 測定装置（ユミゼン H330CRP）を使用する。検査結果は感熱紙へ印字出力されるもの。
以上
シナリオ⑤ 点滴（生理食塩水のみ）
患者：60歳女性 ・熱中症患者へ点滴を行う 生理食塩水のみ
以上
シナリオ⑥ 点滴（ナウゼリンを追加）
患者：60歳女性 ・下痢嘔吐の患者へ点滴を行う（ナウゼリンを追加）
以上